

今福線マップの作成に向けて

伊藤 清治

1. はじめに

今福線は戦前と戦後の二度にわたり計画、着工されたものの、太平洋戦争や時の国内事情からどちらも建設が中断され、完成を見ずに未成線のまま現在に至っている広島と浜田を結ぶ幻の鉄道の一部であり、浜田市の下府町から同市の金城町今福を結ぶ約16km区間にわたって確認できる鉄道遺構です。

今福線研究分科会は、鉄道遺構を後世に残すため、また地域資源としての利用方法等、地元浜田市から情報も取り入れながら、どのような事が提案できるのか、検討しようと言う主旨のもので、複数年かけて検討しようとしています。今年はその2年目となり、新たに一人加わり、総勢9人となりました。今年度は地元で今福線に関わっておられる地元の人たち（佐野地区自治会・寿会）との話し合いをもち、今福線マップの作成の手がかりなどを探りました。

2. 今年度の調査概要

遺構には、トンネル、橋脚、アーチ橋並びに鉄道敷等があり、その中で平成20年にはアーチ型の橋梁群が、土木学会の「選奨土木遺産」に認定されています。

今年度の予定の概要は次のとおりです。

7月30日（土）... 昨年度の成果報告及び今年度の課題・活動内容等についての話し合い。

11月5日（土）... 先遣隊により主要調査ルート の 伐採等。

11月19日（土）... 午前 11月5日の先遣隊により伐採した区間を中心に踏査。

午後 地元自治会等の方々との話し合い。（今福線を語る会）

宿泊 金城ウエスタンライディングパーク。（入浴はきんたの里）

11月20日（日）... 帰路を兼ね佐野から下府に向かって再度調査。

3. 現地調査等から見てきた現状と課題

現地調査は11月19日（土）の午前中及び20日（日）の午前中に実施した。19日はやや雨模様であったが幸い小雨程度ですみ、旧線と新線の合流付近のアーチ橋群を河岸まで降りて調査した。20日は雨も上がり曇り模様で、帰路を兼ねて佐野から下府に向かって昨年度調査出来なかった遺構を含め再度調査した。再調査によって河岸から眺める新たに魅力的な場所等を発見することが出来ました。



旧線と新線の合流付近の4連アーチ
（ひと味違った景観が見られる）



4連アーチ下方を流れる下府川
（景観が魅力的である）

11月19日(土)の午後からは、そばりえの小村さんの打ったそばと地元寿会の森脇さんが持参された手作りのおはぎや漬け物等で昼食をともにした後、今福線への取り組みや今後について話し合いを行いました。この会は「今福線を語る会」と命名されました。



“今福線を語る会”の話し合い



昼食のメニュー（そばやおはぎ等）

この会の中で、地元から次のような取り組みや意見等が出ました。

- ・路盤敷は年に2回程度は草刈りを行っている。
- ・殺風景なので桜を植えた。
- ・アーチ橋等景観的に優れた箇所はたくさんあるが、防護柵が腐食していて機能を果たしていないため危険。
- ・橋の下に降りて眺めてみたいけど、急斜面で足場が悪くあきらめてしまう。簡単な階段みたいなものがあれば良いのだが。
- ・眼鏡橋のおろち泣き橋の標柱を建てた。

昨年度の研究会の成果として、本研究会で命名した“おろち泣き橋”の標柱が地元寿会によって設置されたことでした。しかし、標柱は建ったもののその名前の由来についてよく判らないと言うことや、うわさで聞いたおろち泣き橋の場所がどこにあるか判らない。またその現象を聞く（橋の下のある限定された場所に行き、下を流れる川の川音の反響音を聞く）までには至らなかった等の問題があったそうです。（現在イノシシ防御の柵が設置してあり、橋の下まで降りられない状態であった。）



新しく設けられた標柱（左側）

今回の話し合いから、地元としても今福線を地域振興の起爆剤として活用したいと考えられているようであったが、自治会等で行動を起こすためには若者の参加が必要であるが、今福線が若者に受け入れられるかが心配であるとのことでした。

本研究会としても、今回の話し合いの経緯で地元の方々に今福線マップを作成することを説明しました。

今福線マップの作成については、今年度の初回打合せ段階で研究会の河野さんに頂いた資料によっておぼろげに見えていたものでした。それは「旧国鉄宮原線遊歩道」と言う大分県九重町の恵良駅から熊本県小国町の肥後小国駅間 26.6km を連絡していた廃線の旧国鉄宮原(みやのはる)線のマップです。このマップは主要な場所の位置や写真及び説明が簡潔に判りやすく記載されており、インターネットからでもダウンロード出来るようになっていました。

今回初めての今福線を語る会の結論として、地元としては簡単で小さな看板や矢印でも良いから判るように設置するなど出来ることからやってみようと言うことになった。私たち研究会としては、今福線マップを作成し、インターネットに掲載する(日々修正出来るように)など今福線をアピールする方法等を検討することになりました。

19日は金城ウエスタンライディングパークに泊まりました。たぶん私たちだけの泊まりでした。この金城ウエスタンライディングパークは今年度閉鎖されるとのことです。現地踏査直前に報道され驚いていたところでした。施設にはまだ多くの馬が保育されており、たくさんの維持費が必要だそうです。今後どうされるのでしょうか。

それに先だって近くの“**きんたの里**”で入浴しました。日帰り入浴客等たくさんの方がきていました。

このように、たくさんの人でにぎわっている場所もあれば採算がとれなくて閉鎖に追い込まれる施設が非常に近い場所で存在していることに何か経営に問題があったのかと考えさせられました。(馬たちの良い引き取り先が見つかれば良いと願っています。)

良きにも悪きにもこのような施設が今福線の近くにあることを考えれば、何か有効活用が出来ないだろうかと考えさせられました。



来年度閉鎖が決まった宿泊した施設
(金城ウエスタンライディングパーク)



保育されている馬など
(金城ウエスタンライディングパーク)

3. おわりに

今年度今福線マップの作成という目標が決まり、来年度も今福線研究会を継続することとなりました。今回発足した「今福線を語る会」を中心として地元との連携を図り、より身近で、継続可能な方法を見いだすと共に、有効的な“**今福線マップ**”を作成したいと考えております。